



## 「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

# 本宮二中学区「自己マネジメント力」の育成

本宮市立本宮第二中学校

家庭学習の習慣を身に付けているが、内容と取り組む姿勢に個人差が見られる。生徒の実態に応じながら「自己マネジメント力」を育むために、生徒同士の関わりから自己改善へと繋ぐことを目指した「自己マネジメント力向上プロジェクト」を実践している。

## 取組のねらい

### 「自己マネジメント力」の育成に向けて

本宮第二中学校では、「自己マネジメント力向上プロジェクト」を実践している。R-PDCAサイクルを通して、家庭学習の習慣や環境作りを行う実践である。級友や先輩・後輩などからの影響が大きくなり、自我が確立する中学生の発達段階を鑑みて、生徒同士の関わり合いを通して自己改善へと繋げていこうという実践である。

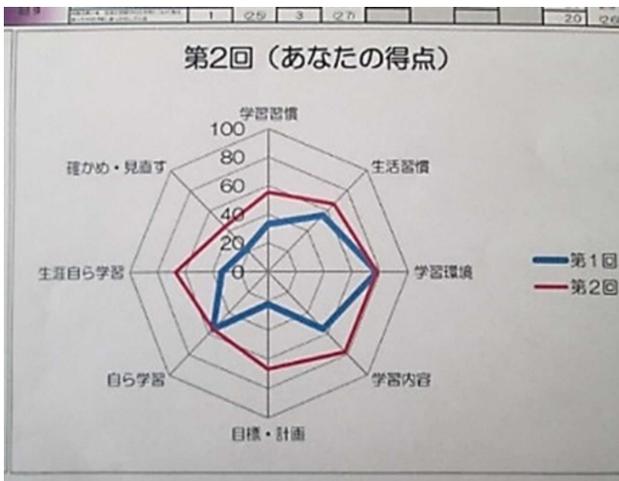
## 取組の内容

### アンケートを通して、自己を振り返る

家庭での生活や学習について、「学習習慣」、「生活習慣」、「学習環境」、「見直す」、「学習内容」、「目標と計画」、「自ら学習」、「生涯自ら学習」の8つの指標からアンケートを実施する。レーダーチャートにまとめた個人の結果と学級の結果をもとに自己の振り返りを行う。

### 級友との話合い・先輩や後輩の実践をきっかけに、家庭学習の改善を図る

級友との話合いから、助言や励ましをもらい、自分の気付きをもとに「私の宣言」という形でこれからの実践事項をまとめる。また、全校集会での先輩や後輩の実践を聞き、家庭学習への意識を高める。



【レーダーチャート…個人の結果】



【私の宣言…廊下への掲示】

## 実践して見えてきたこと

### 家庭学習への取組を共有したことで、頑張りに対して認め合う雰囲気醸成される

このプロジェクトを全校で行っていることで、個々の頑張りが発信される機会が確実に増えている。また、互いの頑張りを認め合う雰囲気が醸成されており、学級や学校の雰囲気が確実によくなっているなど、学級経営にも好影響を与えている。

### 生徒同士の関わりから、保護者との関わりへ

学校では、家庭に戻ると意欲が減少してしまう生徒が一定数存在した。来年度は、自己改善を図ろうとしている我が子を応援する形で、保護者との連携を強化したい。学校で意欲付け・動機付けを行い、家庭で励ますという構図が中学生の発達の段階には有効だと考える。